

JAいけだ CREATION

今月号の表紙写真は、3月5日に開催された「第30回 JA十勝池田町女性部通常総会及び30周年記念式典・祝賀会」の集合写真です。 詳細につきましては次号掲載致します。



CONTENTS

- *十勝池田町フェア
- *青年部積立研修を実施
- *21NEWS アラカルト
- *地上
- *シリーズ 協同組合と報徳
- *JAグループ通信
- *畜産部通信
- *第30回琴伝流
大正琴十勝会発表会
- *理事会の動き
- *編集後記

2019.

3
MARCH

No.111

十勝池田町フェア

池田町の農産物と共に、 北国北海道から南国沖縄へ

平成31年2月10日（日）に、㈱ワタリ様、㈱沖縄サンエー様の御協力のもと、那覇メインプレイス、具志川メインシティの2店舗で「十勝池田町フェア」が開催されました！今回は生産者を代表し、ネバリスター部会より中西洋一部会長と八田祐基さんの2名が店頭販売を行いました。

当日の天候は曇りでしたが、午前中から沢山のお客様が来店され、池田町産の根張星、ゆり根、馬鈴薯、玉ねぎを購入していただきました。

店頭販売では、㈱ワタリ様が用意してくれたのぼり、根張星作付から収穫までを紹介したP.V.、リーフレット、試食の効果もあり、大盛況となりました。八田さんから「実際に、根張星のP.V.やパッケージに自分の写真が載っているのを見ると、販売にも力が入ります。一人でも多くのお客様に根張星を知っていただきたい」というコメントをいただきました！

ゆり根に関しては、沖縄で食べる文化がないため、初めてゆり根を見て戸惑う人も多かったのですが、食べてみると「じゃがいものような感じだね！」「こんなに甘いとは思わなかった！」などと高評価で、多くの方に購入して頂きました。

今回根張星を初めとした池田町の農産物を販売して、改めて知名度が高くなってきたことを実感することができました。試食を勧めた際にも、「大好きで、いつも食べている」と言って頂きました。生産者の中西部会長も「こうして直接消費者と交流し、販売できる機会があるのはとてもありがとうございます。今後の根張星を作るモチベーションに繋がります」とおっしゃっていました。

最後に、店頭販売に御協力していただいた㈱サンエー様、㈱ワタリ様を始めとする多くの方々に厚くお礼申し上げます。

(記事・農産部農産課 葛西 蓮)



▲写真中央が八田さんです。試食用の「とろろ」を持ち、販売の準備はばっちりです。㈱ワタリ様が用意したのぼりが日々的に取り付けられています。店内でも目につきやすい位置に販売スペースがセッティングされていました。

▼写真左が中西部会長です。フェアが始まると、とろろ、ゆり根の試食はあっという間になくなります。これも池田町産の農産物の知名度が確実に上がってきている証拠です。





青年部 積立研修を実施



1月21日から24日に、3泊4日の日程で青年部積立研修を行いました。積立研修とは、青年部員が毎月一定額の積み立てを行い、普段なかなか行くことのできない地で研修を行う事業です。今回は1年間の積立を行い、参加者19名で沖縄県へ研修して参りました。

研修初日は今回参加できなかった部員に見送られ池田を出発し、その日の夕方に沖縄県那覇市に到着。

2日目はまず青果物専門商社の株式会社ワタリ沖縄支店を視察研修をさせて頂きました。株ワタリ様は青果物の加工、流通に関する幅広い事業を展開する会社で、沖縄県で最大のスーパー「サンエー」と提携し、そこで販売されている青果物等を世界各地より仕入れ、パッケージし提供しています。JA十勝池田町とも根張星をはじめ数々の農産物の取引をさせて頂いております。今回はパック詰めを行っている現場を視察させていただきました。青果物の鮮度を保つため流通の段階から徹底した温度管理がされており、顧客のニーズに対応したパック加工やカット加工も行っているそうです。視察後には今回案内していただいた黒田支店長と意見交換を行い、部員からの様々な質問にもお答えいただきました。



黒糖工場
(収穫したサトウキビを圧搾機にかけている様子)

株ワタリ様にて。パック詰めの様子



その後、沖縄黒糖工場に場所を移しサトウキビから黒糖ができるまでの工程を見学。昼食後には、オリオンビール工場にて製造工程を見学したのち、試飲をさせて頂きました。同日夜には沖縄料理を味わいながら島唄ライブを楽しみ、青年部間の親睦を深めました。

3日目は終日自由行動で部員は各々観光や買い物など沖縄を満喫したのではないでしょうか。最終日は琉球王国の政治、外交、文化の中心地として威容を誇った首里城を訪れました。中国と日本の築城文化を融合した独特の建築様式で文化的、歴史的価値がある世界遺産を見学でき、沖縄の歴史を知る貴重な経験ができたと思います。

今回沖縄での研修では、遠く離れた地での流通の現場や文化に触れることができ、とても有意義な研修を行えたと思います。今後も積立研修を継続し、道外や海外での研修を重ね生産現場で役立つ知識を学んでいければと思います。

(記事・青年部員 安富貴昭)



首里城

記念講演の様子



畜産課

和牛生産組合 30周年記念講演

2月18日、組合設立30周年を記念した講演会を開催。講師に十勝農協連企画室室長 西部博寿様をお招きし、「池田町和牛改良30年のあゆみと今後めざすところ」と

題し、当JA管内の繁殖成績や市場成績の推移、十勝和牛マニュアル牛の成績などについて、ご説明いただきました。

繁殖成績については、10年前は平均分娩間隔が409日だったものが、直近では394日まで短縮されるなど、管理技術や繁殖牛全体のレベルが向上しており、今後は新たな技術「ゲノム育種価」などを有効活用し、改良を進めていくことが重要であるとのことでした。

講演後の定期総会には関係者含め42名が出席し、懇親会では和牛のしゃぶしゃぶを食べながら懇親が深められました。

(記事・畜産部畜産課長 米川 武)

畜産課

草地管理技術 研修会 ～草地更新3ヵ年運動～

2月20日、牧草機械利用組合主催による標記研修会が開催されました。はじめに、畜産試験場 技術支援グループ主査 渡部敢様より、「草地更新に係る試験研究成果とその活用」についてご説明いただきました。雑草防除に関するポイントや草地更新スケジュール、現在試験中の課題等についてご説明いただきました。

続いて、日産化学(株)札幌営業部アカウントマネージャー 大塚純樹様より、草地更新時の除草剤に関する情報提供をいただきました。質疑では活発な質問が出ており、皆様の関心の高さが窺えました。畜産部が進めています「草地更新3ヵ年運動」は2年目を迎ますが、本年度も様々な取組みを展開して参ります。

(記事・畜産部畜産課長 米川 武)

研修会の様子



研修会の様子



青年部

銀河線ブロック 冬期研修会

平成30年度の銀河線ブロック冬期研修会が2月7日にJA本別町にて開催されました。研修内容はてん菜の栽培技術紹介ということで、北海道糖業株式会社本別製糖所原料課主任 大葛政史氏に説明していただきました。今回は栽培技術の中でも除草剤と土壤肥料の2つのテーマについて詳しく教えていただきました。

雑草の発芽直後の様子など除草剤の対象となる雑草を写真付きで説明していただきとても分かりやすい説明でした。除草剤についての知識があまりなかったので、とても勉強になりました。雑草の生態や除草剤一つ一つの特性など、これから学ばなければならないことはたくさんあるなと感じました。

土壤肥料については減肥による収益性の確保を目的とした試験の結果を説明していただきました。肥料代が高騰する中、収益性を落とさずに栽培することができれば、農家にとってのメリットは大きいのでチャレンジしてみる価値は十分にあると感じました。

お昼からは銀河線ブロック青年部の盟友と北糖の方々で懇親会を行い、とても有意義な時間となりました。

(記事・青年部運営委員 八田祐基)

青年部

池田町農業構造政策 推進協議会青年部研修

2月25日に標記研修があり、コマツ道東株式会社、ばんえい十勝帯広競馬場へ視察に行きました。

コマツ道東株式会社では、農家の為のスマート農業化・労働不足を補う無人化・次世代を担う後継者を支援する為の技術（ＩＣＴ技術）の向上で効率化を実現し、農業分野で働いている全ての人達の架け橋となる存在だと感じました。

ばんえい十勝帯広競馬場の視察では、競走馬がそりひきながら力や速さなどを争うレースを見る事も魅力の一つではありますが、競走馬を日々お世話している職員の方々の姿勢は、普段私たちが家畜や農産物に対して愛情を注いでいる事と同じ位とても価値のあるものだと感じました。

今回の研修では、私自身今後の畜産経営をしていく上で、とても意味のある勉強会になりました。

(記事・青年部運営委員 山内孝司)



青年部

2JAスポーツ交流会

平成31年2月4日にJA十勝池田町青年部とJA十勝高島青年部の交流会が行われました。今年は高島青年部が主催となり北部コミセンにてミニバレーを行いました。両青年部混成による8チームが熱戦を繰り広げていま



した。交流会終了後は懇親会が行われ、農作業やプライベートの話で盛り上がっていました。

今回の交流会では、普段関わる機会が少ない高島の青年部員と交流ができ、とても有意義な時間となりました。春の農作業が始まる前の良い運動になったのではないかと思います。

(記事・青年部員 高橋直人)



優勝チームへ賞品の贈呈

管理部

**救命救急講習会を開催
～心肺蘇生法・AED操作学ぶ～**

J Aでは、職場や家庭で突然呼吸や心臓が止まってしまった時の応急手当（救命処置）に関する正しい知識と技術を学ぶ、救命救急講習会を1月22日（火）に、本所会議室で午前と午後の2回実施し、職員39名が参加いたしました。



AED操作について説明を受ける

とかち広域消防事務組合池田消防署の石井職員より、応急手当の重要性及び、救命処置の実技として心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の取扱いについて学びました。トレーニング用マネキンを使い「反応の確認」「呼吸確認」「胸骨圧迫」「人口呼吸」の一連の応急措置方法とAEDの操作について実技訓練を行いました。

池田消防署の救急車の出動は、平成30年は370件で平均到着時間は約7.2分です。突然心臓と呼吸が止まり、何もしないで救急車を待った時より、居合わせた人が救命処置を行った時の救命の可能性は11%から24%と差は2倍以上になることを知り、参加者は救命処置の必要性を再認識しました。職員も最初は声が小さく恥ずかしさもありましたが、心肺蘇生法を学ぶうちに真剣に熱のこもった講習となりました。

当JAは、「いけだAEDセンター」協力証表示制度に登録していますので、「万が一の時」は講習会の成果を生かし緊急時の対応に備えられるよう、継続した講習会を計画し、救命救急技術が職員全員の身につく取り組みといたしたいと考えております。119番通報は、地図データやGPS機能により迅速に出動場所の特定ができる、いちはやく現場に駆け付く事ができるそうですので、緊急時には119番通報をお勧めします。

(記事・管理部長 花本 敦)

資 材 課

平成31年 春の展示即売会開催

2月7日～8日、生産資材課では17商社参加ご協力のもと、春の展示即売会を開催いたしました。

飼料倉庫内では、農業機械の部品や酪農資材が中心に展示され、実際に商品を手に取り、春から開始される農作業に向けて多くの資材を新調される方の姿が見られました。駐車場スペースでは、トラクターやブロードキャスター、リフトなどの大型機械や自動車が展示され、実際に試乗する組合員も見受けられました。メーカー販売担当者からの機能説明や、意見交換が活発に行われ、大いに賑わいを見せた展示会となりました。

生産資材課では、春からの農作業に向けた農業資材や、新商品の情報提供を今後も継続してまいります。展示会に来られなかつた方や来場時に気になるものがあった方は、お気軽にお問合せください。

最後に、展示会開催期間中は生憎の天候ではございましたが、延べ66名の方々にご来場いただきました。ご来場いただきました組合員の皆さんには、心より感謝申し上げます。

(記事・購買部生産資材課 桜井綾之)



「地上」は青年農業者の
“声”をたいせつにします。
全国の盟友たちと
「地上」を通して
つながろう!!

地上

若手農業者のリアルな声を届けます
農業情勢&農業政策をわかりやすく解説
JAグループが進める創造的自己改革の意味と重要性が理解できる
同世代女子の農業にも注目

JAグループ家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷幡原町11 TEL 03-3266-9019 <http://www.iеноhikari.net>

JAのウエブマガジン「iеноhikari(ピッカリ)」では、「地上」に登場した青年農業者たちを紹介しています。また、読者と編集部が交流するフェイスブックも実施しています。

Piiekari
iеноhikari

Facebook
iеноhikari

JA自己改革

に役立つ情報満載!

JAグループ家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷幡原町11 TEL 03-3266-9019 <http://www.iеноhikari.net>

JAのウエブマガジン「iеноhikari(ピッカリ)」では、「地上」に登場した青年農業者たちを紹介しています。また、読者と編集部が交流するフェイスブックも実施しています。

Facebook
iеноhikari

協同組合と報徳

シリーズ

No.51

誤りのない
経済・感謝の生活

「報徳訓」は、報徳実行の 入り口であり、扉です

自己の存在を

明らかに

など精神的なものと、物質的、経済的な遺産をうけついできました。この遺産を

私たちの勤勉努力で、一步

前進させ、子孫に継承せよ

と言つております。

勤労による

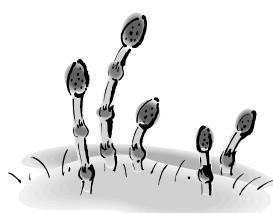
生命の存続を

最後に、報恩感謝の心で、報徳四綱領の至誠・勤労・分度・推讓の確実な実行を、人生觀として忘れるなど教えています。

の日本という国を預かつたのですから、より平和で安定した国として、将来に発展させてゆくことが、現代に生きる私たちの祖先に対する義務であり、子孫に対する責任であると言つておられます。

自己の存在を
文化の存在を

私たちには、祖先から、有形無形の文化、教育、道徳



「報徳訓」

父母の根元は天地の令命に在り
身体の根元は父母の生育に在り
子孫の相続は夫婦の丹精に在り

父母の富貴は祖先の勤功に在り
吾身の富貴は父母の積善に在り
子孫の富貴は自己の勤労に在り
身命の長養は衣食住の三つに在り
衣食住の三つは田畠山林に在り
田畠山林は人民の勤耕に在り

今年の衣食は昨年の産業に在り
来年の衣食は今年の艱難に在り
年年歳歳報徳を忘るべからず

JAグループ通信

J A グループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。J A 北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A 北海道中央会

J A グループ北海道は、児童養護施設からの卒業を控えた高校生を対象とした調理実習体験「おとなの食育」を札幌市内で開催しました。



この取り組みは、自立支援活動として、J A グループ北海道と興正こども家庭支援センターが共催しており、今回で6回目の開催となります。

高校卒業後、一人暮らしを始める生徒が多く、施設から卒立った後も栄養バランスを考えた食生活を送ってもらい、健康に過ごしてほしいという趣旨で実施しています。高校生10名が参加し、身体に必要な栄養素や食材の消費・賞味期限など食の知識について学んだ後は、調理実習に挑戦。グループに分かれて役割分担をし、協力して楽しく料理する姿が見られました。

J A 北海道信連

J A バンク北海道は、地域貢献活動の一環として、野球観戦を通じて子供達に夢や希望を持ってもらうことを目的に、「ファイターズ・ドリームシート」に協賛し、今シーズンは福祉団体を通じて1,200名余りの子供達を招待しました。



「初めて野球の試合を見て楽しかったです。」「声がかかるほど応援しました。」等の感想をいただき、多くの子供達に楽しんでいただきました。

ホ ク レ ン

J A とホクレンは労働力確保が深刻になりつつある生産現場と、障がい者の社会参加を希求する福祉側とのマッチングを目指す農福連携研修会を昨年12月、札幌市内のホクレンビルで開きました。大学研究者や実際に障がい者を雇用している生産者・J A の他、北海道庁職員ら70人余りが参加。グループディスカッションでは農福連携の実現に向けた課題と、今後の可能性などについて積極的な意見交換が行われました。



J A 共済連北海道

J A 共済では、『「こども共済」資料請求キャンペーン』を実施しております。Webで「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『J A 共済オリジナル アンパンマンお食事エプロン』をプレゼントしております。キャンペーンは平成31年3月20日(水)まで、先着60,000名様となっております。



この機会にJ A 共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております！

J A 北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

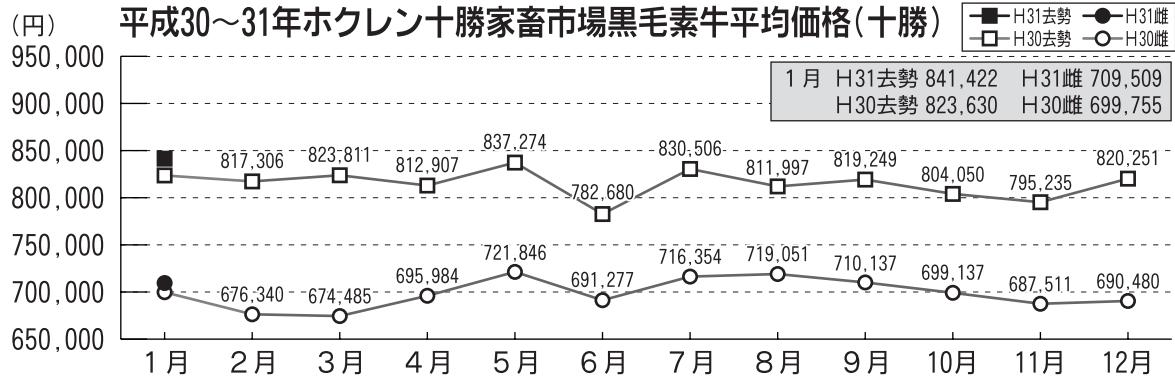


年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



畜産部通信 畜産部 畜産課



1月黒毛素牛出荷区分別成績

【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比	参加率・認定率
去勢	十勝	和牛素牛	758	841,422	21,171
	十勝	マニュアル参加牛	471	843,106	24,682
	十勝	マニュアル認定牛	26	919,994	25,298
池田	十勝	和牛素牛	59	844,194	71,227
	十勝	マニュアル参加牛	54	837,940	63,059
	十勝	マニュアル認定牛	5	922,104	90,504
雌	池田	和牛素牛	466	709,509	19,029
	池田	マニュアル参加牛	313	706,351	17,951
	池田	マニュアル認定牛	9	797,040	40,140
十勝	十勝	和牛素牛	32	702,405	19,527
	十勝	マニュアル参加牛	30	686,556	6,043
	十勝	マニュアル認定牛	3	809,640	809,640

1月ホクレン十勝枝肉市場

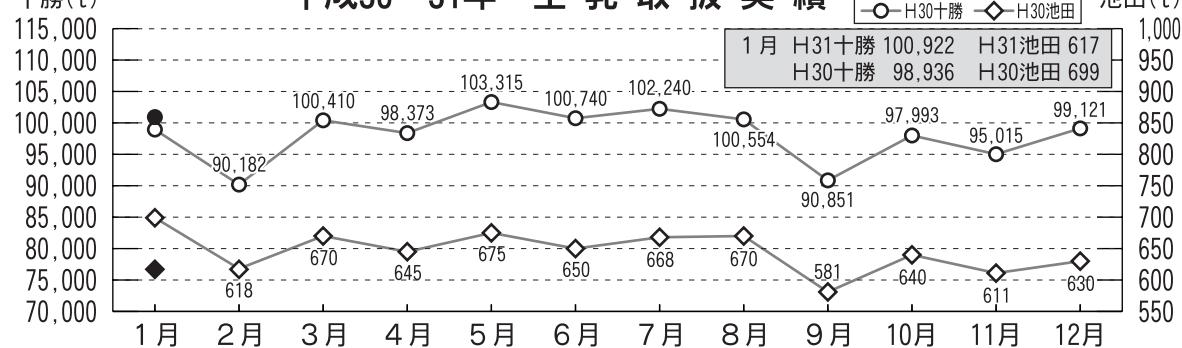
【金額(円)】

開催日	区分	規 格	平均単価(税抜)
12日	黒毛去勢	A - 5	2,515
		A - 4	2,327
		A - 3	2,127
12日	黒毛雌	A - 5	—
		A - 4	2,338
		A - 3	2,116
12日	F 1去勢	B - 3	—
		B - 2	1,350
		F 1雌	—
		B - 2	—



平成30~31年 生乳取扱実績

【H31十勝 H31池田 H30十勝 H30池田】



1月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
9日	乳牛育成	508	516,410
24日	乳牛初妊	617	997,001
	乳牛経産	55	604,231

1月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区 分	平均価格(税込)	前 月 比
乳牛オス初生	96,818	- 9,565
F 1オス初生	273,987	- 10,678
F 1メス初生	175,098	- 11,670
廢用牛	187,020	+ 13,605

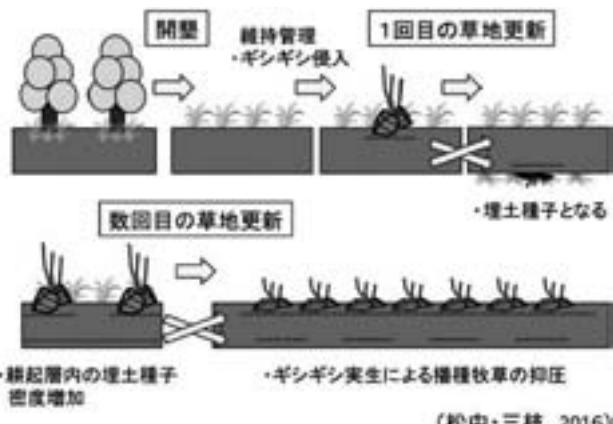
草地更新
3か年運動

草地更新のすすめ

パート10

草地更新時のギシギシ防除

ギシギシはタデ科の多年草で、草地の強害雑草の一つです。1個体当たりの種子生産量が極めて多く、その数は1万粒にもなり、種子の寿命は土中にあって20年以上との報告もあります。このため、草地更新時の耕起・碎土がきっかけで、埋土種子から一斉に出芽し個体数が爆発的に増えてしまう事例も少なくありません。草地更新時あるいは更新直後にしっかりとギシギシを防除することが極めて重要になります。



ギシギシの埋土種子の増加過程（概念図）

● 経年株の枯殺

更新予定草地の1番草刈取り後に前植生処理を行い、ギシギシの経年株を枯殺します。シバムギ、リードカナリーグラスの防除に合わせ、グリホサート剤（タッチダウンIQなど）を所定量散布することで、ギシギシも枯殺することができます。

● 播種床造成処理

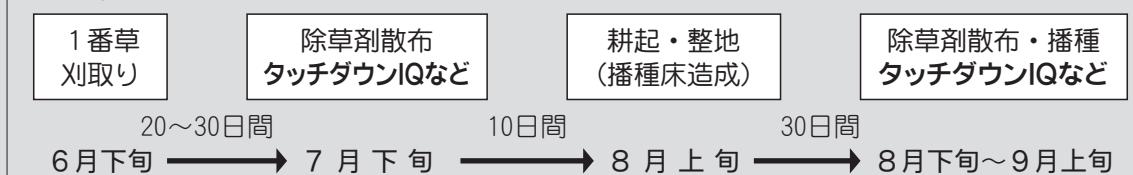
ギシギシに加え、リードカナリーグラスや一年生雑草の実生雑草も防除できる播種床処理が有効です。ギシギシだけに限れば、牧草播種後にハーモニー75F水和剤による防除も可能ですが、この場合は播種した牧草も生育停滞するので注意が必要となります。



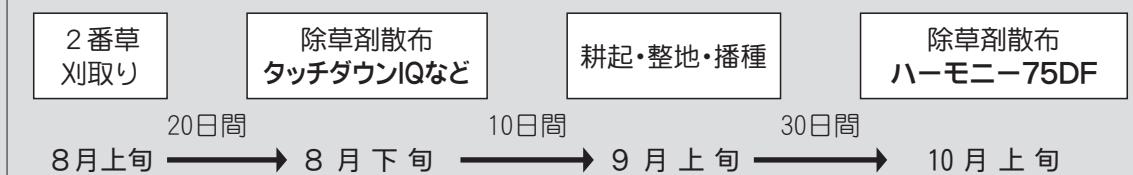
毎土種子から発生したギシギシ個体

ギシギシ防除体系処理例

播種床造成処理



播種後処理（ハーモニー75DF水和剤）



理事会の動き

第12回

〈平成31年2月25日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退及び資格変動について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 共計品の精算について
- (4) 「JAバンク基本方針」の変更について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の資格変動並びに出資金持分減口承認願いについて
- (2) 平成30年度決算見見通し剩余金処分方針について
- (3) 職員に対する年度末手当の支給について
- (4) 平成31年度役員報酬額の答申について
- (5) 平成31年度事業計画の設定について
- (6) 平成31年度内部監査計画(案)について
- (7) 平成31年度経営定期点検実施計画(案)について
- (8) 平成31年度個人情報保護計画(案)について
- (9) 地区懇談会の顛末とその対応について
- (10) 理事の組合員勘定取引供給限度額の設定について
- (11) 固定資産(土地)の売却について

★ 協議案 ★

- (1) 生活事業店舗の閉店について
- (2) 第30回通常総会の開催日程について

第30回 琴伝流 大正琴十勝会発表会

入場無料

とき 平成31年 4月7日(日)

開場 12:30 開演 13:00

ところ 池田町田園ホール

主催 琴伝流大正琴十勝会

後援 内閣府認定公益社団法人大正琴協会、池田町、池田町教育委員会、十勝池田町農業協同組合、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局、琴伝流大正琴全国普及会本部



厳しい寒さも終わりを迎え、いよいよ春がやってきます。この時期になると、私の楽しみの一つであるプロ野球が3月29日に開幕します。今年は高校野球で活躍した選手が多くいます。去年は札幌ドームに観戦に行けなかったので、今年は行きたいですね。

広報が皆様の手元に行く頃には春作業がスタートしていると思います。機械整備や作業時には事故が起きないようお気をつけて下さい。(杉山)

編
集
後
記